

令和6年度秋田県立大館少年自然の家第1回協働会議（5月13日開催）

1 日 時 令和6年5月13日（月）午後2時00分～午後3時45分

2 場 所 秋田県立大館少年自然の家 視聴覚室

3 出席者

【委員】

高橋善之（会長）、佐藤 潔、月居裕二、福原良英、石川久晴、田中清美、
安部芳範、鳥潟美奈子、大野美佐子
桑山麻衣子

【大館少年自然の家】

佐藤所長、北林副主幹（兼）チームリーダー、花田主事、
成田主任社会教育主事（兼）チームリーダー、高杉社会教育主事、
阿部社会教育主事

【教育庁生涯学習課】

渡辺主任社会教育主事、佐々木社会教育主事

4 議事概要

- (1) 開会
- (2) 大館少年自然の家所長あいさつ
- (3) 教育庁生涯学習課長あいさつ（代読）
- (4) 会長あいさつ
- (5) 報告・協議

①報告

- ・令和6年度経営方針等について
- ・施設設備の状況について
- ・令和5年度利用状況、主催事業等について
- ・令和6年度主催事業、研修団体等について

②協議

- ・テーマ

「みんなが“笑顔・幸せ”（ウェルビーイング）になるわんパーク大館」となるために、新たな利用者の拡大、価値観の醸成を目指して

- (6) 閉会

5 委員からの主な意見

- ・クマ対策について、夜間のテント泊も考慮した対策の検討をお願いしたい。
- ・在り方検討委員会に関連して、大館少年自然の家は県北唯一の教育機関でもあるので、児童生徒数の減少等の理由にとらわれず存続させて欲しい。
- ・学校や家庭では体験できないようなことを自然の家でできるとよい。
- ・こども食堂のように、大館少年自然の家が心のよりどころになるような施設になればよい。
- ・施設の維持管理が一番大事であるため、厳しい財政であると思うが予算の確保に努めてもらいたい。
- ・高齢者と子どもが交流できる事業があればよい。また、大館市の広報を活用して主催事業等の宣伝をしてはどうか。
- ・大人の研修施設として、指導者の研修や養成のための利用を増やせないか。